

平成 19 年 5 月 21 日

各 位

会 社 名 シンワオックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 勝 弘
(コード番号 2654 大証第二部)
問合せ先 取締役経営企画室室長 松浦 公司
(TEL. 06-6683-3101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 29 日の業績修正発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1 平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正

(1) 連結

(単位：百万円，%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	26,947	△308	△320
今 回 修 正 予 想 (B)	25,802	△1,028	△1,659
増 減 額 (B-A)	△1,145	△720	△1,339
増 減 率 (%)	△4.2%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	16,903	△318	△636

(2) 個別

(単位：百万円，%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	24,710	△240	△434
今 回 修 正 予 想 (B)	24,312	△903	△1,763
増 減 額 (B-A)	△398	△663	△1,329
増 減 率 (%)	△1.6%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	16,879	△311	△618

2 修正の理由

(1) 連結業績

卸売事業におきましては、米国産牛肉の輸入が昨年度より再開されておりますが、輸入量が限定的である為、輸入停止以前の水準まで回復していない状況であります。こうした中、豪州産牛肉（売上

高 前年同期比 125.0%)、国産牛(売上高 前年同期比 123.5%)等の販売を強化し米国産牛肉の減少分を補ったものの引き続き原料肉の価格高騰など依然として厳しい状況が続いております。

また、外食事業におきましては、既存店における売上高は、「地鶏ごちそう処 とりひめ」をはじめ、全般的に堅調に推移しているものの、仕入価格の高騰等による原価率の上昇、および一般管理費率の上昇が収益に大きく影響を及ぼしました。また、ホテル事業におきましては、改装工事の遅れによる機会損失に加え、販売促進の実施の遅れから需要を取りこぼし、宿泊及び飲食店舗の集客が伸び悩みました。また、婚礼の獲得においても苦戦を強いられました。

そのほか、原油高騰などによる消耗品、配送コストの上昇、恒常的な人員不足による人員確保の為人件費及び募集費の増加が主な修正の要因であります。

また、当期純利益におきましては、不採算店舗における減損処理を行い 418 百万円を特別損失として計上したほか、関係会社における貸倒引当金の繰入として 137 百万円を前回予想の特別損失額に追加しております。

以上により、通期における連結の売上高は、25,802 百万円、経常利益においては、△1,028 百万円、当期純利益においては、△1,659 百万円となり、業績予想数値を修正しております。

(2) 個別業績

主に連結業績予想と同一の要因によるもの。

※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上